

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>子育て家庭にとって魅力あふれる京都づくりをオール京都体制で推進します</p>	<p>子育て環境日本一への挑戦</p> <p>京都府子育て環境日本一推進戦略を策定し、子どもが社会の宝として、地域の中で健やかに育ち、子どもの明るい声に包まれた京都づくりを府民・企業と一体になり推進します。</p> <p>■若者の意識・行動変革、定着促進プロジェクト</p> <p>（仕事と育児の両立体験導入企業の拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携して取り組んでいる「仕事と育児の両立体験プログラム」を拡充（内容の多様化）し、大学で取り組んでいるライフデザイン教育と合わせ、多くの学生・企業の参加を促します。 <p>（学校等と連携した乳幼児とのふれあい機会の創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・地域・NPO等と連携して、小・中学校の多目的教室等において、子育てひろばを定期的（月1回程度）に実施する取組を広め、児童生徒が乳幼児と触れ合う機会を創出します。 <p><数値目標：「仕事と育児の両立体験プログラム」参加学生数 190人（㊟11人）></p> <p>■子育てしやすい職場環境への企業改革プロジェクト</p> <p>（子育てに優しい職場環境づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに優しい職場づくりを進める企業を増やし、「子育て企業サポートチーム」の企業訪問により、「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」の取組を進め、時間単位の年休取得、不妊治療に係る休暇、短時間勤務、テレワークや子連れ出勤等の柔軟な制度導入等、男女がともに働きやすい職場環境づくりを進めます。 <p><数値目標：子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数 300社（新規）></p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<p>■子育てしやすい地域コミュニティの再構築プロジェクト</p> <p>（地域における乳幼児の見守り体制の構築）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て経験者や元気な高齢者などで「赤ちゃん応援隊」を創設し、乳幼児がいる家庭を訪問するなど見守り支援を行う体制を整備して、地域の子育て力の向上を図ります。 <p>（周産期等子育て医療体制の強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府立医科大学附属病院においてNICU（新生児集中治療室）を増床するとともに、京都第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院に加えて「総合周産期母子医療センター」に指定するなど、周産期医療ネットワークを拡充します。 <p>（病児保育の広域化の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府及び市町村の代表が参加し、病児保育の広域運用に向けた具体的な検討を実施するとともに、市町村が連携して行う病児保育の開設に向けた施設整備支援を行うことにより、府域における病児保育の受け皿拡大と、市町村間の相互利用を推進します。 <p style="padding-left: 40px;">＜数値目標：保育所における待機児童数 0人（$\text{\textcircled{30}}$75人）＞</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<p>虐待・不登校・ひきこもり等総合対策</p> <p>様々な子どもの問題にシームレスに対応できる体制を強化し、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進します。</p> <p>■児童虐待防止に向けた市町村や関係機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待に係る情報共有を徹底し、早期発見及び早期対応を推進します。 ・虐待の未然防止や再発防止のため、虐待した（おそれのある）保護者に対する支援を拡充します。 ・市町村職員の児童相談所への受入研修等により市町村の対応力向上を図ります。 <p>■配偶者暴力相談センターを中心としたDV被害者の相談、保護、自立支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所相談時間を延長するとともに、必要に応じたアウトリーチ（訪問）による支援を実施します。 ・子どもの前で暴力行為を行った保護者への指導支援を強化します。 <p><数値目標：一時保護したDV被害者のうち、社会的自立に向けた生活を始めた人の割合 50%（29年43%）></p> <p>■子どもの最善の利益を守る社会的養育推進計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な養育による社会的養護の充実のため、児童相談所の機能強化等、様々な子どもの状況に適切に対応できる養育環境の整備を計画的に推進します。 <p>■学齢期からの切れ目のないひきこもり支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機関ときめ細かく連携し不登校生徒への対応・支援を強化します。 ・チーム絆（当事者・家族をサポート）を中心とした地域における支援体制を構築します。 ・社会参加を促進するため、在宅勤務や短時間勤務など、当事者の状況に応じた就労機会を確保します。 <p><数値目標：ひきこもり支援を受けてコミュニケーション能力や生活スキルなどが向上した人の割合 60%（新規）></p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>■子どもの貧困の連鎖の防止対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組の評価を踏まえ、子どもの貧困対策推進計画を見直します。 ・「きょうとこどもの城づくり事業」を拡充し、フードバンクや居場所づくり、学習支援等を総合的に取り組むことで、子どもの健全な成長と貧困の連鎖の防止を図ります。 ・子育てや就職・修学等に係る経済的支援の充実を図ります。 <p><数値目標：こどもの城づくり事業による整備箇所 180 箇所（30141 箇所）></p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>安心できる介護・福祉の実現と共に支え合う共生社会を実現します</p>	<p>介護・福祉人材の確保・定着</p> <p>だれもが住み慣れた地域で、安心して暮らせる介護・福祉の実現のため、介護・福祉人材の確保・育成・定着支援の取り組みを進めます。</p> <p><数値目標：平成30年度から令和2年度の3年間で7,500人の確保（③2,485人）></p> <p>■きょうと福祉人材育成認証制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証事業所、上位認証法人制度の浸透を強力に推進、福祉職場のイメージアップを図ります。 ・大学や福祉施設、関係機関とタイアップし、「働きやすい職場」を全面に出した広報を展開、新卒者から選ばれる業界を目指します。 <p>■北部福祉人材養成システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部フィールドワーク事業について、令和2年度からの社会福祉士資格取得に係る大学カリキュラム変更等を見据えて柔軟に対応するなど効果的に展開し、大学生等の北部誘致・定着を推進します。 ・北部の特性を活かした「ミニ就職説明会」や「次世代担い手育成事業」を推進、北部出身者の北部定着を誘導します。 <p>■外国人介護人材受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材の技能習得及び職場定着に向けた取組など、外国人介護人材受入環境の整備のための議論を開始します。

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>障害者が暮らしやすい社会</p> <p>障害のある人もない人も、地域で安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指します。</p> <p>■発達障害児が地域で安心して暮らすための医療・福祉サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害児に対し、医療・福祉・相談をパッケージで提供できる「発達障害児支援拠点」を府北中部に新たに整備し、南部の「こども発達支援センター」を中核に拠点のネットワーク化を図るとともに、市町村や教育機関と連携した支援体制を構築します。 <p>■障害者が希望に添って働くための就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就労支援に関する質問事例集」を活用して福祉事業所に対し、一般就労への移行支援を行うとともに、商品の新開発・改良、ブランド化、共同発注の拡大等を通じて工賃向上を図ります。 <数値目標：福祉事業所から一般就労への移行者 400人（㊟316人）> ・障害者の就農・就労人材を育成するチャレンジ・アグリ認証講座を中部でも開催するとともに、農福連携製品の6次産業化やブランド化を支援し、農業分野での就労を促進します。 <数値目標：農福連携事業実施事業所 36箇所（㊟26箇所）> <p>■障害者のスポーツと文化芸術の振興を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020東京パラリンピック後を見据えた、スポーツを楽しめる機会の継続・裾野拡大やアスリート・指導者の育成支援 ・国際博物館会議（ICOM）等の開催を契機に、きょうと障害者文化芸術推進機構を中心とした障害者の芸術活動支援を海外に向けて積極的に情報発信します。

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる医療・介護体制を構築します</p>	<p>地域で在宅療養を支える体制の構築</p> <p>住み慣れた地域で適切な在宅療養が受けられることができるよう、地域包括ケア体制の充実を図ります。</p> <p>■地域包括ケアを進める環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区医師会等を核に地域包括ケアを推進するため、医療・介護従事者のネットワーク体制の構築を進めるとともに、在宅医療に積極的な役割を担う病院を支援します。 ・ 訪問診療、訪問看護の対象者を増加させる診療所・事業所を支援し、在宅での医療提供体制を強化します。 ・ 各保健所の地域包括ケア推進ネットや共助型生活支援推進隊が中心となって、地域の実情に即した市町村の介護予防・日常生活支援等の取組の充実を進めます。 ・ 認知症リンクワーカーによる当事者への寄り添い支援の充実や、切れ目のない医療・介護の仕組みづくり、認知症ケアセンターの整備など、認知症総合対策を進めます。 ・ 京都 SKY センターや関係段階等と連携し、各地域に多世代交流の場や高齢者が豊富な経験と知識、スキルを発揮し活躍できる場を創設します。 <p>< 数値目標：在宅医療の取組を新たに始める又は充実させる医療機関数：250 機関（③217 機関） ></p> <p>< 数値目標：認知症リンクワーカーの養成数（累計）：200 人（③171 人） ></p> <p>< 数値目標：NPO など介護予防事業の新たな立ち上げ・充実を行う団体数：累計 162 団体（京都市除く）（③累計 132 団体） ></p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

重点事項	成果目標（注）
	<p>■在宅療養を支える体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">・在宅療養者が地域で暮らせる体制を確保するため、地域の在宅療養の要となるかかりつけ医や訪問看護師等を対象に在宅療養者への対応力向上を図ります。・在宅療養を担う訪問看護ステーションの実質的なサービス提供量を拡充するため、新卒看護師等への就業定着支援や訪問看護師の事務負担の軽減を図ります。 <p><数値目標：訪問看護ステーション数：304 施設（㊟295 施設）></p> <p>■「京あんしんネット」を活用した連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションツールを活用し、かかりつけ医、看護師、ケアマネージャー、介護従事者など、地域包括ケアを支える多職種が連携した「在宅チーム」の活動を支援します。 <p>地域医療ニーズを踏まえた医師の確保</p> <p>医師不足の状況を、様々なデータに基づき明らかにしたうえで、地域医療ニーズを踏まえた医師確保ができるよう、目標数値と目標達成に向けた方策を明確にして医師の地域偏在及び診療科偏在の解消を図ります。</p> <p>■地域間における医師偏在の解消</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の医療需要、将来の人口変化、医師の属性など、二次医療圏毎にデータを分析し、国の医師偏在指標に対する検証を行い、必要に応じて京都独自の医師偏在指標を作成します。・大学、医師会、関係団体等で構成される医療対策協議会において、二次医療圏ごとに地域の実情に沿った医師確保の目標及び医師確保対策の取組を策定します

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
		<p>■地域で不足する外来医療機能の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・外来の医療機能について、二次医療圏ごとに疾病の構造や患者の受療行動などの地域の特性を分析し、地域の実情に沿った外来医療機能の偏在解消の取組を進めます。・医師確保が困難な地域において、在宅・地域医療を担う人材の育成・確保の取組を推進します。 ＜数値目標：将来医師不足地域での医療を担う医師を養成する地域医療枠数：2人（新規）＞ <p>■産科・小児科医師の不足に対する対応</p> <ul style="list-style-type: none">・全国的に不足する産科医師・小児科医師について、医療資源の集約化・重点化を見据えた周産期医療提供体制の見直しによる医師確保の目標を設定し、医療機関が行う機能分化・連携を推進します。

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。

令和元年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
4	<p>健やかで生き生きとした暮らしの実現を目指します</p>	<p>エビデンスに基づいた健康づくり対策の実施</p> <p>府民全員が自らの健康は自ら守るとの意識を持ち、健康診断やがん検診の受診、生活習慣の改善に取り組めるよう、医療・介護等のデータを活用し、保健所・市町村・各保険者・大学・企業等と連携してエビデンスに基づいた対策を講じ、健康社会の構築を目指します。</p> <p>■受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診やがん検診受診率の向上に向け、年代や性別、過去の受診歴や血圧が高いなどの健診結果などに応じた受診勧奨や WEB 申し込み、検診受診時の乳幼児一時預かりの実施など、受診環境の整備を進めます。 <p>＜数値目標：健診受診率向上を目指した府作成の媒体を活用して特定健診受診勧奨を実施した市町村数 13 市町村（新規）＞</p> <p>■ハイリスク者対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網膜症、腎症、末梢神経障害などの合併症を併発する恐れのある糖尿病の重症化予防、全国平均に比して死亡数の多い心疾患の発症予防など、健康リスクの高い方に対する保健指導を強化します。 <p>＜数値目標：糖尿病重症化予防対策（未受診者対象）実施市町村数 全市町村（㊟23 市町村）＞</p> <p>＜数値目標：糖尿病重症化予防対策（治療中断者対象）実施市町村数 13 市町村（㊟7 市町村）＞</p> <p>■働き盛り世代や健康無関心層に対する働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の 7 割を占める健康づくり無関心層へアプローチするため、アプリを活用したウォーキング勧奨、理美容室の待ち時間を利用した健口体操などの口腔ケア対策、適塩おぼんざいの普及、多様な主体が連携して健康寿命延伸の取組を進める「ヘルス博 Kyoto2019（仮称）」の開催など、民間ノウハウを活かした健康づくり対策を展開します。 <p>＜数値目標：「ヘルス博 Kyoto2019（仮称）」参加団体数（企業、市町村等）75 件（新規）＞</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標を設定することが適当な場合は、数値目標を記載する。